

群馬県中小企業団体事務局長会 夏季研修会

「インターネットトラブルから身を守るには  
～情報セキュリティと危機回避行動～」



群馬県中小企業団体事務局長会（津久井真次会長）は、9月26日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、夏季研修会を開催した。

研修会では、「インターネットトラブルから身を守るには～情報セキュリティと危機回避行動～」をテーマに、高崎商科大学商学部教授・河合博子氏が講演を行った。



河合博子氏

まず河合氏は、年々増加するインターネットトラブルの例として、従業員による情報の持ち出しやH Pへの不正アクセス等を紹介。

次に、職場に存在する情報資産には、単なる情報機器だけでなく、個人情報等の「情報そのもの」や職員をはじめとした「情報に関わる全ての人」が該当すると説明。その上で、情報資産を狙ったサイバー犯罪等に対処するには、どのようなリスクや手口が存在するの

かを組織内で把握しておくことが重要であると強調した。

最後に、「ウイルス感染等のトラブルを全て防ぐことは難しいが、取組み次第でリスクを大幅に減らすことができる。まずは、ソフトウェアを常に最新状態にするなどの基本的な対策を講じ、組織全体で話し合うことで情報セキュリティに対する意識を高めてもらいたい」と締めくくった。

研修会終了後、懇親会を開催。津久井会長が主催者挨拶を行った。その後、終始和やかな雰囲気では、会員相互の交流・懇親が深められ、盛会裡に終了した。



懇親会は講師も参加し大いに盛り上がりを見せた